講義名	日本語総合Ａ					授業形態	
担当教員	横田　彩子	開講期・曜日・時限	前期 月曜日 ３時限				
		単位数	2	履修開始年次	１年生	ナンバリング・コード	JPN100

主題と概要

JLPT N2相当の文法項目を体系的に学び意味を理解すると同時に、その文法がJLPTの問題や日常生活で出てきたときに確実に対応できる力を身につけられるよう、実践的な練習を積んでいく。文法項目ごとの使用場面を考慮し、書き言葉として用いる文法については他の授業でのレポート課題などで使用できるよう練習を行い、話し言葉で用いるものに関しては、日常会話で使用できるよう練習を行う。

到達目標

①JLPT N2相当の文法の意味を理解できる
②JLPT N2の文法問題を8割以上正解できる
③JLPT N2相当の文法をレポート課題や日常会話で使用できる

提出課題

授業内で学んだ文法を使用し文を作る課題の提出を求める。

課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバックの方法

提出された課題の講評を行い、返却する。全体的に習熟度が低いと見られる文法項目は、授業で再度取り上げ解説を行う。

評価の基準

課題の達成度　30%
授業への参加度　　30%
最終テスト　40%

※5回以上欠席した場合は上記の評価に関わらず不合格とする。

履修にあたっての注意・助言他

授業内での講師とのやり取りを通して、文法への理解を深め、文法使用に慣れることを目指すため、積極的な参加を歓迎する。

教科書

.増補改訂版 日本語総まとめ N2文法.	佐々木仁子、松本紀子	アスク	1320	978486639488

参考図書

.日本語文型辞典 改訂版.	グループ・ジャマシイ	くろしお出版	3630	978487424949

その他

教科書の内容は随時コピーしたものを配布する。また、教科書以外にも、内容を補強する資料を状況に応じて配布する。

授業計画

第１回　オリエンテーション、N3復習
予習内容：シラバスをよく確認した上で、講義に出席すること（120分）
復習内容：講義ノートを整理・復習し、授業内容の理解を深めること（120分）

第２回 文法項目1～24
予習内容：配布資料の内容を確認すること（90分）
復習内容：講義ノートを整理・復習し、授業内容の理解を深めること（150分）

第３回 文法項目25～48
予習内容：配布資料の内容を確認すること（90分）
復習内容：講義ノートを整理・復習し、授業内容の理解を深めること（150分）

第４回 文法項目49～71
予習内容：配布資料の内容を確認すること（90分）
復習内容：講義ノートを整理・復習し、授業内容の理解を深めること（150分）

第５回 文法項目72～95
予習内容：配布資料の内容を確認すること（90分）
復習内容：講義ノートを整理・復習し、授業内容の理解を深めること（150分）

第６回 文法項目96～107
予習内容：配布資料の内容を確認すること（90分）
復習内容：講義ノートを整理・復習し、授業内容の理解を深めること（150分）

第７回 文法項目108～119
予習内容：配布資料の内容を確認すること（90分）
復習内容：講義ノートを整理・復習し、授業内容の理解を深めること（150分）

第８回 文法項目120～131
予習内容：配布資料の内容を確認すること（90分）
復習内容：講義ノートを整理・復習し、授業内容の理解を深めること（150分）

第９回 文法項目132～143
予習内容：配布資料の内容を確認すること（90分）
復習内容：講義ノートを整理・復習し、授業内容の理解を深めること（150分）

第１０回 文法項目144～155
予習内容：配布資料の内容を確認すること（90分）
復習内容：講義ノートを整理・復習し、授業内容の理解を深めること（150分）

第１１回 文法項目156～167
予習内容：配布資料の内容を確認すること（90分）
復習内容：講義ノートを整理・復習し、授業内容の理解を深めること（150分）

第１２回 文法項目168～179
予習内容：配布資料の内容を確認すること（90分）
復習内容：講義ノートを整理・復習し、授業内容の理解を深めること（150分）

第１３回 文法項目180～191
予習内容：配布資料の内容を確認すること（90分）
復習内容：講義ノートを整理・復習し、授業内容の理解を深めること（150分）

第１４回 テスト
予習内容：今までの配布資料の内容を復習すること（90分）
復習内容：テストで正答の自信がない文法項目を復習すること（150分）

第１５回 テストのフィードバック、授業のまとめ

授業形態（アクティブ・ラーニング）

	ア：PBL（課題解決型学習）		イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
	ウ：ディスカッション、ディベート		エ：グループワーク
	オ：プレゼンテーション		カ：実習、フィールドワーク
	キ：その他（ＡＬ型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）		

卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

本科目は、本学が育成を目指す「豊かな社会の実現に貢献できる意欲と能力を持ったビジネスパーソン」となるために身につけておくべき基礎能力のうち、「仲間と協同して、物事を成し遂げることができる人材」として「必要な日本語能力を身につけ、活用することができる」力の養成を目指すものである。

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

なし

実務経験の有無及び活用

なし

備考

なし